

特別企画 : 新型コロナウイルス感染症に対する静岡県内企業の意識調査**新型コロナウイルス、企業の81.1%で「業績でマイナスの影響」
～ 企業の1.8%で「業績でプラスの影響」～****はじめに**

世界的に猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症。2020年3月11日、WHO（世界保健機関）は、世界的な流行を意味する「パンデミック」にあたりと宣言した。日本でも国民生活だけでなく、企業の経済活動に大きな影響を及ぼしている。政府は、資金繰り支援やテレワークなどの経営環境の整備支援、雇用の維持を図るための助成金の給付など、様々な対策を進めている。しかしながら、早期終息の糸口も掴めておらず、いまだ予断を許さない状況である。

そこで、帝国データバンクは、新型コロナウイルス感染症に対する企業の見解について調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2020年3月調査とともに行い、全国調査分から静岡県内企業を抽出して分析した。なお、新型コロナウイルス感染症に対する調査は、2020年2月に続き、今回で2回目。

※調査期間は2020年3月17日～31日、調査対象は静岡県内企業642社で、有効回答企業数は339社（回答率52.8%）。

※本調査の詳細なデータは景気動向オンライン（<https://www.tdb-di.com>）に掲載している。

調査結果（要旨）

1. 新型コロナウイルス感染症による自社の業績への影響、『マイナスの影響がある』と見込む企業は81.1%。内訳をみると、「既にマイナスの影響がある」が49.0%、「今後マイナスの影響がある」が32.2%となった。「影響はない」とする企業は8.3%だった一方で、『プラスの影響がある』（「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計）と見込む企業は1.8%にとどまった。
2. 『マイナスの影響がある』と見込む企業を規模別にみると、「大企業」が83.9%、「中小企業」が80.6%、「小規模企業」が73.2%となった。規模が大きくなるほど、『マイナスの影響がある』が高まる結果となった。
3. 『マイナスの影響がある』と見込む企業を業界別にみると、『金融』『小売』が100.0%で最も高く、『運輸・倉庫』が95.0%、『製造』の81.2%が続いた。「既にマイナスの影響がある」とする業種は、『小売』が75.0%で最も高かった。

1.8 割超の企業でマイナスの影響を見込む、先月よりさらに悪影響を実感

新型コロナウイルス感染症により自社の業績にどのような影響があるか尋ねたところ、『マイナスの影響がある』（「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計）と見込む企業は81.1%と8割超にのぼった。前回調査（2020年2月、63.9%）と比較すると17.2ポイント増加しており、業績への悪影響をさらに実感している様子が見えてきた。

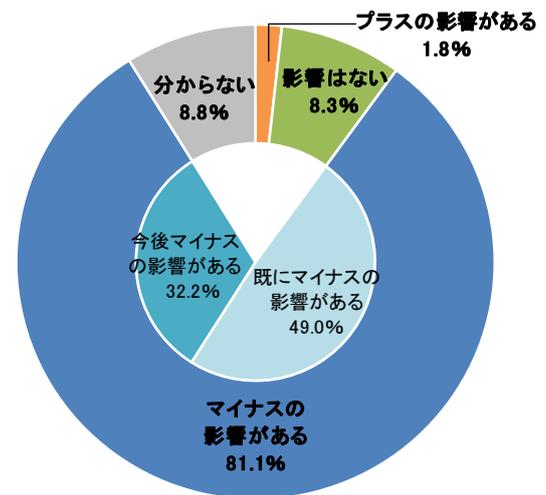
また、内訳は、「既にマイナスの影響がある」が49.0%（同31.7%）、「今後マイナスの影響がある」が32.2%（同32.3%）となった。とりわけ、既にマイナスの影響がでている企業は約半数まで増加した。

他方、「影響はない」とする企業は8.3%（同16.6%）だったほか、『プラスの影響がある』（「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計）と見込む企業は1.8%（同1.6%）となった。

『マイナスの影響がある』と見込む企業を規模別にみると、「大企業」が83.9%、「中小企業」が80.6%、「小規模企業」が73.2%となった。規模が大きくなるほど、『マイナスの影響がある』が高まる結果となった。

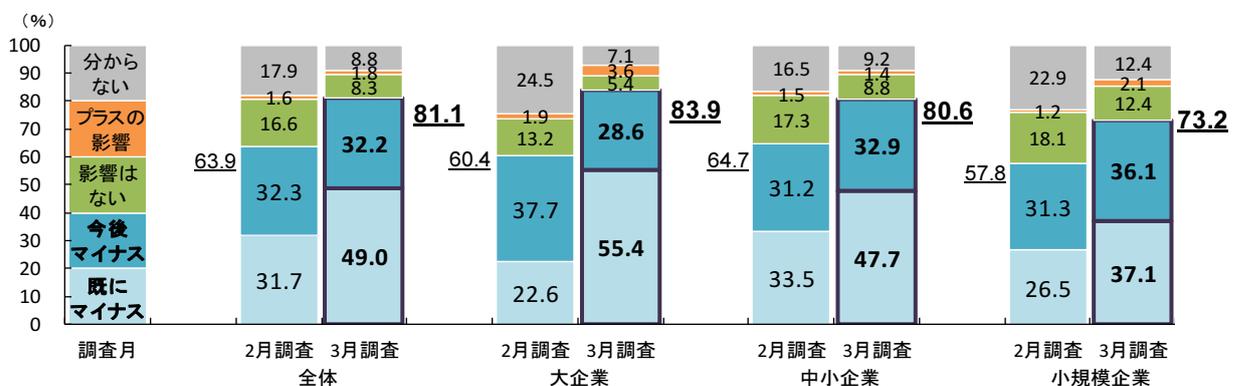
企業からは、「衛生器具（トイレ用品）・空調機の納期の遅延及び解消のメドが全く立たない。また、取引先でも設備投資に関する引き合いがかなり減少している」（建設）、「学校休校措置による出荷停止で3月の売り上げがなくなった」（飲食料品・飼料製造業）などの声があがった。

新型コロナウイルス感染症による業績への影響



注：母数は、有効回答企業339社

新型コロナウイルス感染症による業績への影響
～規模別・前回比較～



注1：下線の値は「マイナスの影響がある」（「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計）の割合

注2：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

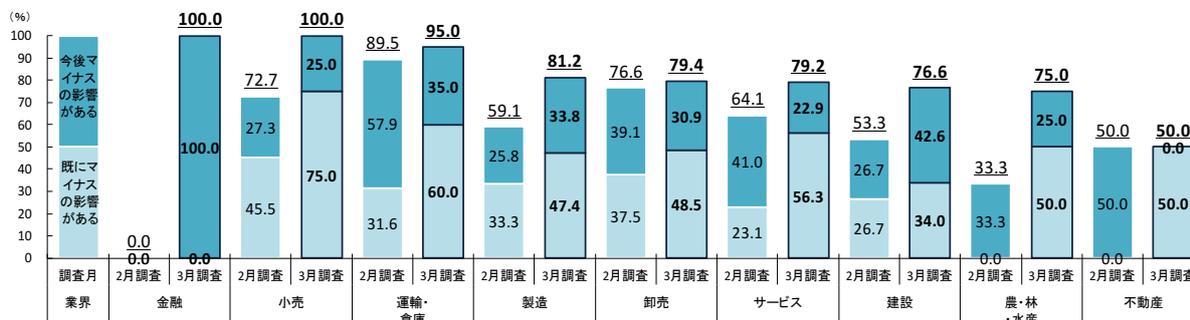
2. 多業種でマイナスの影響が表れる

『マイナスの影響がある』と見込む企業を業界別にみると、『金融』『小売』が100.0%で最も高かった。次いで、『運輸・倉庫』が95.0%、『製造』が81.2%、『卸売』が79.4%、『サービス』が79.2%、『建設』が76.6%で続いた。

「既にマイナスの影響がある」とする業種は、『小売』が75.0%と最も高く、次いで『運輸・倉庫』が60.0%、『サービス』が56.3%で続いた。

企業からは、「海外から輸入している部品等の入荷が悪くなってきている。特に中国、韓国、台湾の生産している製品も減少しているため日本産の製品が組み立てられない」（電気機械製造業）、「人の移動が自粛されており、客数が減少している」（専門商品小売業）、「国内外の市民生活・経済活動が益々規制される中、物の需要が一段と落ち込むため、物流を担う当社には更なる影響が出てくる」（運輸・倉庫）、「消防設備点検は、宿泊施設が多い関係から点検の中止や引き延ばしが発生している」（サービス（メンテナンス・警備・検査業））、「中国（大連）が生産拠点となっているため、春節が若干長引いたことによる生産の落ち込み、また、海上輸送（大連→清水）及び国内の物流（トラック）が予定通り確保できなかったことによる運賃費用の上昇があった」（サービス（専門サービス業））など『マイナスの影響がある』との声が多く挙がった。

【マイナスの影響がある】割合～業種別～



注1: 下線の値は『マイナスの影響がある』『既にマイナスの影響がある』『今後マイナスの影響がある』の合計の割合
注2: 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも一致しない

まとめ

本調査では、8割超の企業が新型コロナウイルス感染症により業績にマイナスの影響があると見込んでいる。2020年2月時点と比較すると大きく増加しており、この1カ月の間でさらに深刻化していた。規模別にみると、「大企業」が83.9%、「中小企業」が80.6%、「小規模企業」が73.2%となり、規模が大きくなるほど『マイナスの影響がある』が高まる結果となった。また、業界別に見ると、幅広い業種で悪影響を及ぼしていることが判明した。

政府には、新型コロナウイルス感染症の早期終息のため、ワクチン開発などのウイルス対応施策とともに、迅速な企業向け支援策および国民に向けた補償策の実行が必要である。

企業の意見(新型コロナウイルス感染症による影響など)

業種	規模	企業の意見
農・林・水産	小規模企業	今のところ大きな影響は見られない。給食がなくなったが、スーパーでの購入が増えて家庭での消費が増えている。
金融	中小企業	取扱高減少による収入減。
建設	小規模企業	地区的に観光業の影響が非常に大きいエリアであるため、どちらにしても、マイナス影響しかない。
建設	大企業	竣工近くなっていた現場のエアコン、便器、衛生器具、水槽、ポンプ等の納期遅延、引渡の延期、入金が遅延が起きている。
建設	小規模企業	Zoomなどの遠隔会議が主流になり、工事現場の説明も遠隔でできれば、生産性が上がる。今が絶好のチャンスだと思う。
建設	小規模企業	世界経済の停滞による製造業の停滞や設備投資意欲の減少が起こるのではないかと考えるから。
建設	小規模企業	計画している工事の新型コロナウイルスによる延期、中止の恐れがある。
建設	大企業	発注材料の納期遅延。
建設	小規模企業	海外メーカーの部材の納期が心配である。
飲食品・飼料製造業	大企業	学校給食、外食で使用されている製品の減少。しばらくは、製品の荷動きが難しくなるのではと考えております。
飲食品・飼料製造業	小規模企業	消費の低迷、円高により輸入品のシェア拡大、輸出低迷により国内市場に余剰感が出る。
建材・家具・窯業製品製造業	小規模企業	部品、建材不足により現場の工事が終わらない。輸入製品が動かなければ、現場も動かない。
化学製品製造業	中小企業	お土産菓子製造会社の低迷。
化学製品製造業	中小企業	欧州での新型コロナウイルスの影響が売り上げにどこまで影響するか、懸念される。
化学製品製造業	中小企業	原料供給会社の操業停止、移動制限による入出荷の遅れが出ている。
化学製品製造業	小規模企業	世界経済が止まれば、産業もストップして、影響はかなり大きい。
鉄鋼・非鉄・鋳業	中小企業	国民の消費活動の減少による顧客の生産量の減少が、当社への注文が減少する。
鉄鋼・非鉄・鋳業	小規模企業	客先での次工程が中国が多いため、生産ダウンの状況。
鉄鋼・非鉄・鋳業	小規模企業	現状具体的な被害は幸い出ていないが、空港、ビル、商業施設の建設、改修、増設にともなう建築製品の製造の仕事をしているため、現場が動かなくなれば直接的な被害が出ます。
鉄鋼・非鉄・鋳業	中小企業	個人消費の落ち込みと中国からの部品の遅れによる生産減少。
機械製造業	中小企業	既に受注の取り消しがあった。加えて材料調達が思うようにできない可能性もあり予測が困難な状況となっている。
機械製造業	小規模企業	注文が来ない。
機械製造業	中小企業	出張の規制により、客が来ない。
電気機械製造業	中小企業	自動車業界の減産影響。
飲食品卸売業	中小企業	学校給食が主要納品先となるため、影響は甚大である。
建材・家具・窯業製品卸売業	中小企業	消費低迷により住宅や家具が売れなくなり、木材業界も低迷する。
建材・家具・窯業製品卸売業	小規模企業	実害としては中国からの製品が止まっており結果物販が出来ず、売り上げが落ちている状況で、間接的には全ての動きが緩慢となっているため販売へのしわ寄せが徐々に出てきている状況です。
化学製品卸売業	中小企業	具体的には除菌用アルコールの需要増加に伴い問い合わせが多くなっているが、既存の顧客にも出荷できないほどに物が入ってこない。
機械・器具卸売業	中小企業	観光地を抱えているので、マインドが良くない。
機械・器具卸売業	大企業	海外生産の商品が輸入できず、仕入が遅れて機会損失が生じる。感染防止のため外出を控える消費者動向により需要が減少する。
飲食品小売業	中小企業	売上・客数ともに激減している
家電・情報機器小売業	小規模企業	物が入らないことによる受注の低迷。
運輸・倉庫	中小企業	歓送迎会、花見の自粛、旅行の見送りなどにより物量は減少する見通し。
運輸・倉庫	中小企業	顧客の物流を担う当社にとって、物流が止まることで業績悪化に直結する。不可抗力で多くの停滞が全世界的に展開しつつある状況で、先が見通せない。
運輸・倉庫	中小企業	消費が低迷しているから、荷物も動かない。
運輸・倉庫	中小企業	収入が減っているが仕事はなくなった訳ではないため、補助金などを得にくい状況である。
運輸・倉庫	中小企業	取引先での業務の混乱が懸念されます。
サービス(リース・賃貸業)	中小企業	対策費用が原価として上乗せされる。その分を売上単価アップでお客様に理解してもらるかと言うと、もらえない。どこも同じ状況だと思いますが、そもそもデフレや競争入札で弊弊し利益圧縮されている中、原価変動はマイナスしかない。
サービス(旅館・ホテル)	大企業	国内旅行の出控えによって沈んだ感じである。(3月は前年対比70%減、4月に関しては前年対比80%減)業界としては海外旅行も減少、国内旅行も減少でかなりのマイナス影響である。資金繰りや経営状況の悪化が懸念される。
サービス(情報サービス業)	小規模企業	物流の悪化。デバイスが中国製が多く、モノが入ってこない。加えて、モノがあっても、国内の流通が追いついていない。
サービス(人材派遣・紹介業)	中小企業	生産調整を行っている客先があるため。

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 静岡支店 担当：竹岸 隆浩

TEL 054-254-8301 FAX 054-254-6602

リリース資料以外の集計・分析については、お問い合わせ下さい（一部有料の場合もございます）。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。